平成28年度　学校評価計画書

【教育目標】　「心身ともに、たのもしい子の育成」

【めざす児童像】
①互いに学び合う子【知】
②やさしく助け合う子【徳】
③健康で命を大切にする子【体】
④地域を大切にし礼儀正しい子【郷土愛】

【目指す学校像】
「今日が楽しく　明日が待ちどおしい学校」
～「わくわく」「どきどき」「感動」を根底に、子どもの心に火をつける！～
・意欲的に授業・行事等に取り組む子どもたちに（達成感、満足感）
・大きな声であいさつし、自分を表現できる子どもたちに（自信）
・自分を知り、より良い自分に挑戦する子どもたちに（目標、自主性）

	評価目標	具体的な取組	主担当	評価の観点	達成度評価基準
学習指導	学習意欲が高まるような空間づくりに努め、児童の学習力向上を目指す。	・学習規律と学習ルールの共有化 ・生徒指導の3機能を生かした授業づくり ・考えさせる時間、話し合いの時間を重視（三角ロジックの徹底） ・学習用語習得につながる教室掲示や学習コーナーの充実	表谷	学習規律と学習ルールが，教師と児童の間で共有化され，落ち着いて学習に取り組んでいる。（学校公開アンケート）	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
				学校研究の視点（三角ロジックの徹底）を重視した授業が，児童の学習力向上につながっている。（児童アンケート・職員自己評価）	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
	学びの経験値を高めるよう努め、児童の学習力向上を目指す。	・学習用語等の確実な定着（用語テスト、用語を使用した説明活動等） ・学んだことを生かす場の設定（各教科、委員会活動、各行事等） ・日常の書く活動の充実（短作文、ノート、新聞を活用した意見文等） ・家庭学習の充実（20・40・60運動＋10分）（予習力、復習力向上） ・土曜授業の充実（基礎・基本の定着、弱点補強：題意を読み取る力、線分図等）	沖浮	短作文や新聞を活用した意見文，振り返り分などを書く活動が有効であり，成果を上げている。（短作文50枚達成率）	A：90%以上 B：80%以上 C：80%未満
				家庭学習が，予習力や復習力の向上につながっている。（家庭学習時間目標達成率）	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
	個に応じたきめ細かな指導の充実に努め、基礎的・基本的な知識・技能の定着を目指す。	・補充学習、発展的な学習の充実（組織的な対応：放課後学習） ・「リテラシータイム」の充実（組織的・計画的・継続的：戦略） ・年2回の全校テスト実施 ・学習用語テスト等の取組	室石	5限開始前の10分の補充学習が組織的・計画的・継続的に行われており，成果を上げている。（市学力調査目標達成率）	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
			沖浮	学習用語等を定着させる取組が有効であり，成果を上げている。（全校テスト目標値達成率）	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
生徒指導	子どもたちの自尊感情、自己肯定感を高めるよう努める。	・あいさつ、あきらめない、あとかたづけを通した集団づくり（3あ運動） ・生徒指導の3機能（「自己決定」「自己存在感」「共感的理解」）を生かした授業及び諸活動 ・達成感、満足感が高まる諸活動（教師主導から児童の企画運営へ）	沖浮	「3あ運動」が教師と児童の間で共有化され，活動する姿に結びついている（児童・保護者アンケート・職員自己評価）	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
			岩坂	生徒指導の3機能を生かした授業や諸活動を行い，学んだことを生かして児童が自己決定し，協力して活動する場を作っている。（児童・保護者アンケート）。	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
	いじめ、不登校等の未然防止、早期発見に努める。	・いじめに関する定期的な調査の実施と迅速な対応 ・Q－Uテストの実施と結果を生かした学級経営（いじめアンケートと連動） ・スクールカウンセラー、支援員との連携と指導の充実	沖浮	Q－Uテストやいじめアンケートの結果を生かした学級経営を行い，いじめ等への迅速な対応や予防に努めている。（保護者アンケート，職員自己評価）	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
			中田	児童理解の会やケース会議で共通理解したことを基に，連携して指導や支援を行っている。（職員自己評価）	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
心の教育・体力向上	豊かな心を育てる道徳教育を推進する。	・時期とねらいを明確にした計画的な道徳及び学級活動の実践 ・保護者、地域と連携した道徳の授業（ゲストティーチャー等の積極的な活用）	室石	年間計画に基づき，時期とねらいを明確にした道徳教育及び学級活動の実践を行っている。（職員自己評価）	A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満
	望ましい生活習慣の確立を図り、健康管理を推進する。	・基本的な生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ご飯、SNS機器等）	角	早寝・早起き・朝ご飯を中心とした指導を行い，児童の基本的生活習慣の確立に努めている。（就寝時間目標達成率）	A：70%以上 B：65%以上 C：65%未満
	体力向上に努める。	・年間を通して「持久力」「敏捷性」の向上を目指す ・鳳至オリンピックの実施		年間を通した計画的・継続的な取組が体力向上につながっている。（50m走目標達成率）	A：70%以上 B：65%以上 C：65%未満
保護者と地域の連携	地域に根ざし特色ある教育を進めるとともに、保護者・地域から信頼される「開かれた学校づくり」を目指す。	・参観から参画へのPTA活動 ・保護者、地域と連携した各種行事の企画及び運営（各教科、道徳、総合等） ・学校ホームページの作成と更新 ・学校・学級だよりの発行（活動の意義・目的と児童の変容を知らせる）	永草	保護者はPTA活動に積極的に参加している。（学年懇談・学校行事への参加率　37%）	A：45%以上 B：37%以上 C：37%未満
				学校便りや学級便り、ホームページなどから学校の様子がわかる。（HPの更新回数200回／年，保護者アンケート）	A：200回以上 B：150回以上 C：150回未満